

兵庫県立丹波医療センター 地域医療連携センターだより



2022年11月
Vol.14

〒669-3495
兵庫県丹波市氷上町石生 2002 番地 7
TEL:0795-88-5200(代表)

DMAT

Disaster Medical Assistance Team

この度、日本 DMAT 隊員となりました



外科部長 寺井 祥雄
Sachio Terai

最近ではドラマなどでも取り上げられる機会もあり、ご存じの方もおられると思いますが、DMAT とは災害派遣医療チームのことで、医師や看護師、コメディカルで構成され、大規模災害や多数の傷病者が発生した事故などの現場において、概ね 48 時間以内に活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けたチームのことです。

1995 年の阪神・淡路大震災において、その後の検証で初期医療体制の遅れによる「避けられた災害死」が数多くあった可能性があり、これらの多くの課題、教訓をもとに、厚生労働省により 2005 年に日本 DMAT が発足されました。

当院にも以前より医師 2 名、看護師 4 名、業務調整員 1 名で構成された DMAT 隊員が存在し、これまで東日本大震災や熊本地震などで実際に DMAT として活動をしてきました。

今回、救急科の武田先生の転勤により DMAT 隊員が減員となり、補充が必要となったため、DMAT 隊員にならないかという打診がありました。

私自身、阪神・淡路大震災の際はちょうど医学部を目指して大学受験をした年で、地震によって自宅が半壊し、しばらくの間、避難所で過ごしました。数日は食事できず、寒さに震えて、受験を前にその後のことなど不安に思ったことなどが思い出されます。

そのような経験もあり、災害医療や DMAT の活動に多少興味を持っていましたので、引き受けさせていただくことになりました。

研修は 4 日間にわたり行われ、座学や実習、訓練などを経て、想像以上に厳しい研修ではありましたが、無事日本 DMAT 隊員として登録されました。

我々が出動をするような事態が起こらないに越したことはないのですが、地震を含めた自然災害は必ず起こります。また当院は近隣で災害があった場合の災害拠点病院としての役割も担っております。

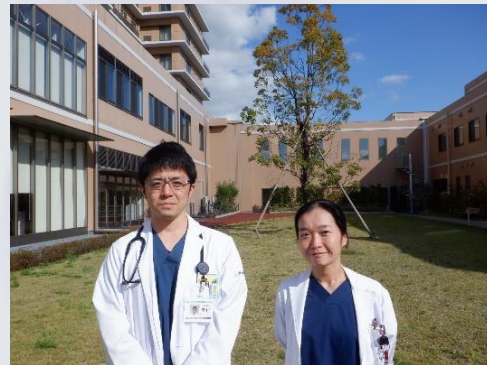
今後は災害時の被災地支援や万一の近隣での災害などに備えて、訓練に励んでいきたいと思っております。



呼吸器内科

*Respiratory
Medicine*

常勤医が着任しました



吉村 遼佑

奥野 恵子

Ryosuke Yoshimura

Keiko Okuno

呼吸器内科は昨年 4 月から桂田医師が常勤として勤務しておりましたが今年 4 月から吉村医師が赴任し常勤医二人体制となり、8 月に桂田医師にかわり奥野が着任いたしました。

本邦では呼吸器内科専門医は消化器専門医の 3 割程度、循環器専門医の 4 割程度と少ないですが、細菌性肺炎や喘息、COPD といった一般的な疾患から間質性肺炎、肺癌診療と専門性を要する疾患など多岐にわたり診察しています。

また、肺癌の化学療法については集学的化学療法や免疫チェックポイント阻害薬、分子標的薬といった最新の evidence に基づいた治療を提供しております。神戸大学附属病院呼吸器内科・外科とは密に連携を取り気胸の手術、肺癌の放射線化学療法や手術などお願いしておりますが、術後のフォローや補助化学療法は当院で行うことも多く丹波地域の患者様には地元で検査・治療が受けられると喜んでいただいております。

今後も地域の先生にご協力をいただきながら丹波での呼吸器診療を充実させたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

当院で使用する新型コロナウイルス 感染症治療薬について

薬剤部 青井 直樹
Naoki Aoi

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 治療薬は、発症からの日数・重症度により使い分けされます。発症早期 (5~7 日以内) では抗ウイルス薬、酸素投与や人工呼吸器を要する場合は免疫抑制・調節薬を使用します。今回は令和 4 年 10 月現在、当院で使用している 3 種類の抗ウイルス薬を紹介します。



①ベクルリー点滴静注用 (一般名レムデシビル)

ベクルリーは抗ウイルス薬では唯一の注射薬で、もともとエボラウイルス感染症の治療薬として開発されていた薬です。一本鎖 RNA がコピーされる際に必要な酵素の働きを阻害し、ウイルスの増殖を抑制します。令和 2 年 5 月に特例承認され、軽症から重症と幅広く使用可能であり、当院で使用頻度が最も高い薬です。



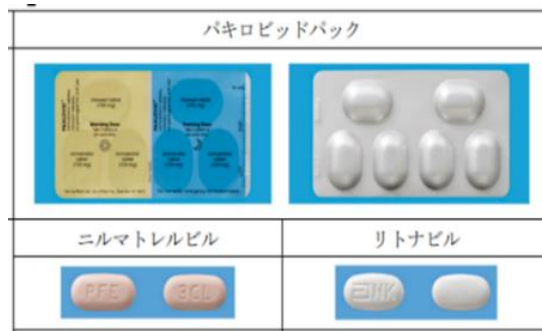
②ラゲブリオカプセル (一般名モルヌピラビル)

ラゲブリオはベクルリーと同様にウイルスの増殖を阻害する内服薬です。18 歳以上の酸素投与を必要としない、重症化リスク因子のある患者のみ使用可能です。令和 3 年 12 月に特例承認、令和 4 年 8 月 22 日に薬価基準収載されました。ボトルタイプの薬 (40Cap 入り) で 1 日 8Cap を 5 日間飲み切りです。



③パキロビッドパック (一般名ニルマトレルビル・リトナビル)

パキロビッドは 2 つの薬を組み合わせた内服薬です。ニルマトレルビルはウイルスの増殖に必要な酵素を阻害し、リトナビルはニルマトレルビルの分解を遅らせ、効果を持続させます。令和 4 年 2 月特例承認されました。下記写真のように 1 枚のシート (1 日分) が朝と晩で色分けされており、5 日間飲み切りです。本剤と相互作用を起こす薬が多いため、服用中の薬はお薬手帳などを使ってすべて確認する必要があります。



地域医療 連携懇談会 を開催しました

地域医療連携センター 堀 理恵

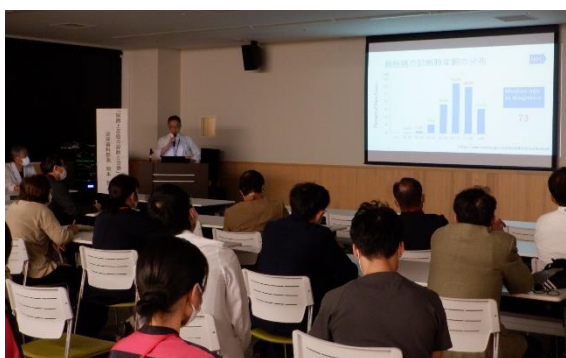
10月13日に、第4回 県立丹波医療センター 地域医療連携懇談会を開催しました。今年度も、新型コロナウイルス感染防止策を徹底し、圏域の関係機関の皆様と勉強会を開催し、院外17名、院内61名、総勢78名の参加がありました。



一つ目の講演は、4月に着任された脳神経内科医長の**大塚喜久**先生より「パーキンソン病の診断と治療」と題してお話いただきました。パーキンソン症状について先生が実際に診察しておられるリアルな動画や、かわいらしいイラスト入りのスライドでわかりやすく説明していただきました。



二つ目は、4月に着任された泌尿器科部長の**岡本雅之**先生より「尿路上皮癌の診断と治療」をご講話いただきました。尿路上皮



癌の特徴や症状、検査、治療について詳しく説明していただきました。質疑応答では、地域の先生方や薬剤師さんから多くの質問があり、とても活気のある意見交換がなされました。

マスクを外しての懇談会開催は今年もできませんでしたが、ご参加いただいた先生方、薬剤師さん、消防の皆様と「顔の見える関係」が築けたのではないかと考えております。今後も地域の中核

病院として、関係機関の皆様のご協力をいただきながら、地域医療の充実に努めて参りたいと思っております。ご多忙の中、ご参加いただきありがとうございました。



9月17日(土)に今年度2回目の草刈りボランティア作業が実施され地元住民や自治協議会、丹波市職員等約200名の方々に参加していただきました。

台風14号の接近が心配されましたが、天候にも恵まれ、草刈り機や鎌などで効率的に作業していただき、草で生い茂っていた病院周辺が大変美くなりました。早朝より参加していただきました地域の方々をはじめ、たくさんの方々の温かい行動に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



ありがとうございました



すっきり綺麗になりました



街の医療機関

地域医療を担う近隣の医療機関を紹介させていただくコーナーです。医療機関の特徴を知り、地域住民の皆様に良質かつ効率的で切れ目のない医療が提供できる連携を目指します！
今号は、吉見診療所 野上 壽二先生をご紹介します☆

吉見診療所 野上 壽二先生(丹波市市島町)

今回の医院訪問は、市島町の吉見診療所野上壽二先生にお話しを伺いました。先生は卒業後、呼吸器・アレルギー・腫瘍内科を専門とされ平成7年近畿大学医学部大学院を卒業。その後は近畿大学医学部付属病院腫瘍内科にて主に肺癌の化学療法(臨床試験)を中心に診療に携わって来られました。抗がん剤の副作用は全身に出現する可能性があるため、全身を広く診ることも常に意識してきたと話されました。平成17年お父様の跡を継ぐ形で開業され、現在に至っております。今年から新しく丹波市医師会長に就任され、病診連携にも種々尽力いただいております。新病院へのコメントをお願いしますと、近年地元医院と県立病院の連携が非常に良好で感謝しています、若い先生方はこの良好な地域の医療連携を十分自覚してしっかり勉強してください、との言葉をいただきました。2回目の訪問となりましたので趣味などを伺うと、以前からの蘭栽培と剣道に加え3か月ほど前からアコースティックギターの練習を始めたとお聞きし驚きました。新しいことに取り組もうとされる積極性に、当方も見習って常に新鮮な気構えを持たねばと痛感した今回の訪問でした。大野 記



外来診療担当表 (令和4年11月)

診療科 \ 曜日	月	火	水	木	金	備考		
内科	一般、初診	藤井 康和 <small>(消化器・肝臓・腎臓)</small>	担当医	見坂 恒明 合田 建	森 寛行	見坂 恒明 京谷 萌	◎ 二次精密検査は、一次健康診断結果票をご持参ください。	
		藤原 稜	杉本 龍	田村 証司		松浦 智弘		
	専門	河崎 悟 <small>(循環器)</small>	新倉 悠人 <small>(循環器)</small>	松本 賢亮 <small>(循環器) 泌尿</small>	岩根 成豪 <small>(循環器)</small>	松本 賢亮 <small>(循環器)</small>	◎ 水曜 松本医師は隔週	
		西崎 朗 <small>(消化器)</small>	星島 正彦 <small>(循環器・腎不全)</small>	佐藤 悠 <small>(消化器)</small>	西崎 朗 <small>(消化器)</small>	野村 雄大 <small>(消化器)</small>		
	予約再診	森 寛行		藤井 康和	藤井 康和	第1・3・5 田中 健雄	◎ 次回の再診予約のあった患者さんのみ	
	専門外来(予約)	こころと記憶の診療科	射場 亜希子					◎ 他医療機関等からの紹介予約のみ
		呼吸器	奥野 恵子	小林 和幸 奥野 恵子 <small>(睡眠)</small> 第1・2・3・4 午後			吉村 遼佑	◎ 第2・4月曜 午後のみ
		ペースメーカ		河崎 悟				
		糖尿病		井上 朋也		鈴木 正暉 第4 14時~ 大橋 紳一郎		
		緩和ケア		板倉 崇泰			田中 祐子	◎ 緩和ケア：院内がん相談支援センターで予約された患者さんのみ
		がん治療支援	板倉 崇泰	板倉 崇泰	板倉 崇泰	板倉 崇泰	田中 祐子	
		脳神経内科	辻 麻人		大塚 喜久		大塚 喜久	
		腫瘍・血液内科 膠原病 リウマチ内科		北尾 章人		水谷 優 第2・4 河野 誠司	中川 大章	
	肝臓 養老・睡眠無呼吸				上田 佳秀	星島 正彦		
小児科	1 診	井上 真太郎	永井 貞之	大西 徳子	岡本 光宏	酒井 國安		
	2 診	松井 佑一朗	岡本 光宏	松井 佑一朗	永井 貞之	大西 徳子		
	3 診	荒木 昭博			荒木 昭博	井上 真太郎		
	専門外来(予約)	第2・4 内分泌 坊 亮輔 第1・3・5 神経	井上 真太郎 <small>(夜尿症・循環器)</small>		松井 佑一朗	岡本 光宏 <small>(アレルギー疾患)</small>	永井 貞之 <small>(アレルギー疾患)</small>	
外科	一般・消化器	寺井 祥雄	担当医	藤田 恒憲	大宮 悟志	大野 伯和		
	乳腺外科	第1・3 肝臓 木戸 正浩		濱中 統親 第2・4 肝臓 木戸 正浩		楠原 達樹		
整形外科		上本 晴信	芝 昌彦	上本 晴信	芝 昌彦	芝 昌彦	◎ 金曜 芝医師は初診のみ	
		今井 貞之	北野 貴大 上本 晴信 <small>(予約のみ)</small>		北野 貴大 上本 晴信 <small>(予約のみ)</small>	今井 貞之		
リハビリテーション科		上本 晴信	芝 昌彦	上本 晴信	芝 昌彦	◎ リハビリ訓練(要予約)は毎日実施		
脳神経外科	甲田 将章 (第1・3・5) 藤本 陽介 (第2・4)	岡村 有祐	担当医 <small>(予約のみ)</small>	岡村 有祐	井村 隼	◎ 水曜 予約診察のみ(救急対応要相談) ◎ 月曜午後 塩見医師(予約のみ診察)		
皮膚科		林 ちさ	村田 洋三	藤原 進	村田 洋三	◎ 火曜 診療開始 9:30~ 受付時間 11:00まで		
泌尿器科		岡本 雅之	山崎 隆文	岡本 雅之	山崎 隆文	◎ 受付時間 月~木曜 11:00まで 金曜 10:30まで		
産婦人科	1 診	丸尾 原義	望月 慎介	武田 晃子	望月 慎介	鈴木 美奈子		
	2 診	出口 雅士	森内 航生	担当医	宮下 幸一	武田 晃子		
眼科	周産期		担当医		担当医		◎ 午後のみ・予約診察のみ	
		9時30分~ 棚瀬 真希子	金光 聖隆	第1・2・4・5 金光 聖隆 第3 菅澤 淳	金光 聖隆 豊國 秀昭	金光 聖隆 豊國 秀昭	◎ 診療開始時刻 棚瀬医師・林医師 9:30~ ◎ 林医師は予約診察のみ	
耳鼻咽喉科		午後 四宮 弘隆 (第1・3・5) 上田 隆 (第2・4) 柿木 章伸 (予約のみ)	井之口 豪	午後 蓼原 瞬	柿木 章伸	手島 直則 (第1・3・5) 古川 竜也 (第2・4)	◎ 受付時間 月~水、金曜 11:00まで 木曜 10:30まで ◎ 月・水曜 午後のみ	
	放射線科	一般	楠 直明	楠 直明	楠 直明	楠 直明	◎ 予約診察のみ	
放射線科	リニアック	木下 知恵子	木下 知恵子	木下 知恵子	木下 知恵子	木下 知恵子		
	歯科口腔外科	岩下 和真				梶原 彰文		
歯科口腔外科		竹内 純一郎	竹内 純一郎	竹内 純一郎	竹内 純一郎	竹内 純一郎	◎ 予約診察のみ	
		寺岡 駿	寺岡 駿	寺岡 駿	寺岡 駿	寺岡 駿		



新型コロナウイルスの感染が始まり、コロナの影響もまだ色々な所に出ています。最近では、多少の外出制限も緩和され、旅行等にも行かれる人々も見受けられるようです。しかし、あくまでも収束したわけでは無く、各々の自己管理が重要になりますので、色々な事に気を配り注意をして日々を過ごし、With コロナの時代に平穏な日々が取り戻せるよう、感染対策と市民のワクチン接種が上手く行くことを祈ります。 S.U

